

次期総長に吉田氏決定



選挙人が集う総長候補者選挙人会＝11月9日正午ごろ、朱雀キャンパス

7票差、僅差での選出

総長選挙
2014

11月9日、朱雀キャンパスおよび立命館アジア太平洋大（APU）キャンパスにて総長候補者選挙人会が行われた。朱雀キャンパスの会場ではAPU会場の様子の中継された。開票の結果、吉田美喜夫氏（65）が選出され、11月28日の理事会で正式に次期総長として決定された。11月2面に関連記事

全構成員自治を重視

総長候補者選挙人会で、わけて392人の選挙人が、朱雀キャンパス会場と立命館アジア太平洋大（APU）キャンパス会場で合

選出された。吉田氏は立命館大学法務研究科教授を務めている。現総長の川口清史総長（69）の後任となり、任期は2015年1月から4年間となる。総長候補者選挙人会直前



11月3日、本紙などが合同で行った取材に応えた吉田氏

学園振興委員長 稲田隆浩さんの話

総長には学生に近い存在であってほしい。多様化する学生の実態を認識し、学園運営に生かしてほしい。これまでの議論の到達点を戻すことなく議論を続けることが大切。学園執行部は、次期総長の下に一丸となつて学園運営に取り組みでいく必要がある。

生協カード 提示義務化 加入を呼びかけ

12月より学内の生協関連の店舗において、生協組合員カードの提示が必須となった。生協店舗利用時には原則として、「生協法」に従い、組合員であることの確認が必要だ。今回、監督官庁から組合員以外の利用を適正に把握することについて指導があった。生協法に準拠し、組合員カードの提示を求めるに至った。朱雀キャンパスにおいても同様の呼び掛けが行われる。

大学利用者システムに障害 後期開始の直前

9月22日、立命館大のCAMPUS WEBをはじめとする統合認証システムに障害が生じた。原因はシステムの性能を向上するためのキャッシュ

システムの全てについて午後1時に停止した。同日午後8時以降、システムは随時復旧し、24日午前11時に個別認証による暫定復旧が完了した。後期セメスターを控える中で、履修に関する学内向けオンラインシラバスにも不具合が生じ、復旧に時間を要した。学外向けのオンラインシラバスは早くに復

旧し、そちらを利用するよう呼び掛けていたが、周知が十分ではなかった。自分とは別の個人ページが表示される不具合も一時的にあったが、プライバシー情報へのアクセスはなかった。情報システム部は「今回のことを教訓にし、安全に機能させていくため、さまざまな手立てを講じていく」と話している。



発行所 立命館大学新聞社

発行人 阪田 裕介
〒603-8577 京都市北区等持院北町
56-1 立命館大学学生会館2F
直通 075(465)8253
内線 2610
〒525-8577 草津市野路東1-1-1
立命館大学セントラルアーク4F
e-mail so0405he@ed.ritsume.ac.jp

情報は社会部へ

電話・FAX
075(465)8253
e-mail
so0444xe@ed.ritsume.ac.jp

情宣は文化部へ

電話・FAX
075(465)8253
e-mail
lt0545vi@ed.ritsume.ac.jp

12月号

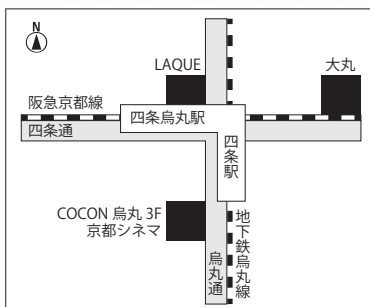
今号の紙面

台風19号接近時の対応は…2面
OIC開設に向けて…3面
女子駅伝4連覇を達成…5面
衣笠でビブリオバトル…6面

海神

秋の褒章で「ザンオールスターズ」のボーカルでシンガー・ソングライターの桑田佳祐さんが紫綬褒章を受章した。今年、発売された新曲「東京VICTORY」は、2020年の東京オリンピックに向けて日本人への応援歌として制作された。一時を駆け抜けMy home town 彗星が流れるようにという歌詞が、変わりゆく東京の姿を象徴的に歌い上げる。東京・浅草生まれの生粋の江戸っ子作家、池波正太郎さん（1923〜90年）は『鬼平犯科帳』『剣客商売』などの時代小説を通して、江戸時代の東京を描き続けた。執筆のきっかけを池波さんの旧友で、こちらは生粋の大阪人、司馬遼太郎さんはこう書いている▼「『いやですわね』池波さんは、心が赤剥けにされてゆくような悲鳴をあげていた。なにしろ当時、東京オリンピック（昭和三十三年）の準備がすすまられていて（略）東京は、べつな都市として変わりつつあったのである。（略）そのころから変わらざる町としての江戸を書きはじめた」（『若いころの池波さん』）▼東京に限らず、大阪や京都などの街も、毎日何かが破壊され、そして何かが造られている。過去の面影を何も残さず変わり続けるのは、日本の街の大きな特徴の一つなのかもしれない▼6年後の東京オリンピックで東京の街は、また新しい都市に生まれ変わるだろう。桑田さんの曲を聞いて、一抹の悲しさを覚えるのは記者だけではない。

京都シネマ
KYOTO CINEMA



四条烏丸下西側COCON烏丸3F
阪急京都線「烏丸」駅下車23番出口よりすぐ
市営地下鉄烏丸線「四条」駅下車2番出口よりすぐ



天オスピヴェット
配給：ギャガ
11月15日（土）公開

これからの上映作品



京都シネマ
10年の10本
11月22日（土）より



さよなら歌舞伎町
配給：東京テアトル
1月24日（土）公開

大学生以下：¥1,000
TEL：075(353)4723

www.kyotocinema.jp/

休講連絡に遅れ、混乱招く

休講対応	連絡時間	JR運転 休止の決 定時
立命館大学 午前10時40分開始の 2限目から休講	午前10時半過ぎ	休講を見送り
同志社大学 午前7時の時点で午 後からの休講決定。 午前9時15分から全 学休講の措置	午前7時、9時15分	休講時の体制を整え て見送り
龍谷大学 午前6時の時点で午 後からの休講を連 絡。午前9時15分か らの1講時途中に全 学休講の措置	午前6時、9時15分	運転休止を考慮し、 当日午前6時にHP で告知

他大学の対応と比較

10月13日、非常に大きな勢力を持った台風19号が近畿地方を襲った。台風接近時における立命館大の対応が関西の他大学に比べて遅れていたと物議を醸し、SNS上や学生間で動揺が走った。立命館大の対応に問題はあったのだろうか。

10月13日、台風19号が列島を横断する進路で近畿地方に接近し、各大学はそれぞれ対応を余儀なくされた。立命館大では、休講の連絡が他大学と比べて遅れており、ツイッターなどのSNS上でも立命館大生の困惑する発言が多く見受けられた。

立命館大の緊急時の対応を任される教務部教務課長松井かおりさんに話を聞いた。教務部は緊急連絡の遅れについて「事前に予防できたにもかかわらず、十分な対応ができなかった」と非常に重く受け止めているという。

前日の10月12日、JRの運転休止が決定し、これを受け教務部の責任者間で対応についての話し合いが行われた。その際に衣笠キャンパスはJR以外にも交通の手段があるとして休講の判断を翌日に見送り、JRを主な交通手段とするBKCキャンパスについても判断を翌日に見送る形で話し合いが終わったという。

京都市内の他大学ではどのような対応がとられたのだろうか。

同志社大では13日午前7時に午後からの休講が決定。午前9時15分には全学休講の措置を取っていた。龍谷大では午前6時に午後からの休講を決定し、午前9時15分からの1講時に全学休講の判断をしていた。両大学とも午後からの全学休講が朝の早い段階から決定していた。

教務部は判断遅延の理由の一つに補講になった場合の調整の難しさがあったという。「多くの学生や保護者の混乱を招いてしまったことは申し訳なく、規定の枠を超えた判断をするべきだったとする。」

大学ホームページにおける台風情報の不明瞭さも問題となった。大学ホームペ

台風19号接近時

10月

現代視点

次期総長に吉田氏

課題には全学で議論を

今年12月で任期満了を迎える川口清史総長の後任は、立命館大学院法務研究科の吉田美喜夫教授に決まった。吉田教授の任期は、2018年12月までの4年間で、現在、本学が推進する「R2020基本計画」の後半期の事業を担うことになる。

吉田教授が他の総長候補者と一線を画した点は、所信表明の初めに、05年の一時金問題以来、学園の執行部と構成員の信頼関係が損なわれたと指摘し、本学の喫緊の課題は「20基本計画」を推進していくことと、現在の立命館の現状に疑問を投げかけた点だ。

この点については、吉田教授は本紙のインタビューでも「本学の強みである全構成員の声をしっかりと聞いて、決めたなら着実に実行するという点で、現在弱まっているのではないかと。本来の姿を回復させることが、立命館の独自性を発揮することにつながる」と明確に答えている。

また、吉田教授は大阪いばらきキャンパス(OIC)開設などに代表される「R2020基本計画」を推進していくことと、現在の立命館の現状に疑問を投げかけた点だ。

学内からも同計画の大規模な財政支出を不安視する声が出ていたのは事実である。吉田教授も「R2020事業・投資計画」の見直しを求める教職員によって昨年7月に開催された「オールRits大集会」の呼び掛け人の一人だ。

同計画は、来年4月のOIC開設を皮切りに、新学部開設、さらなる国際展開などを控えている。本学は今、変革期の真っただ中にある。

大きな改革に際して、学内から不安や戸惑いの声が出るのは当然である。次期総長は、説明責任を果たし、課題に対しては全学で議論し、学園の構成員全体で改革を推進していくという姿勢が求められる。

吉田教授も本紙インタビューで「残された課題を私は熟議と言っているが、皆さんとしっかりと議論していくことが、必要だと考えている」と話している。

R2020後半期担う

次期総長に吉田美喜夫氏

解説

先月9日に開かれた総長候補者選挙人会の投票の結果、次期総長に立命館大学院法務研究科の吉田美喜夫教授が選出された。28日の理事会での承認をもって、正式に就任が決定した。

吉田教授は立命館大法務部・同大学院法学研究科民専専攻出身で、1977年、同大学院法学部の非常勤講師に赴任して以来、現在まで立命館大の教員として研究・教育に携わっている。吉田教授は本紙のインタビューで「私は立命館に育ててもらったと思っており、心から入学して良かったと思う」と話している。また法学系出身の総長は78、84年に総長を務めた天野和夫氏以来となる。

今年度の総長選挙は、学園ビジョンを示す「R2020基本計画」の後半期を担う総長を選出する重要な選挙だった。吉田教授は同計画を具体化し推進していくことながらも、同計画には財政的な課題があり、全学で議論していく必要があると主張している。本紙インタビューでも同計画の「財政的な裏付け」と

また吉田教授は、昨年7月に同計画の見直しを求める教職員によって開催された「オールRits大集会」の呼び掛け人の一人で、以前から同計画の財政的課題についての全学的討議の必要性を主張していた。

よしだ・みきお 立命館大学院法務研究科民専専攻後期博士課程単位取得退学、博士(法学)。研究分野は労働法。著書に『タイ労働法研究序説』(晃洋書房)など。現在は立命館大学院法務研究科教授。他に京都府労働調整委員会や京都市人権擁護審議会会長などを務める。



吉田美喜夫氏

戦後の立命館 歴代総長

末川 博 (1892~1977) 1945年11月~48年2月(学長) 1948年2月~49年1月/49年4月~69年4月	末川 博
武藤 守一 (1910~70) 1970年2月~70年9月	武藤 守一
細野 武男 (1912~94) 1970年11月~78年6月	細野 武男
天野 和夫 (1923~2000) 1978年7月~84年12月	天野和夫
谷岡 武雄 (1916~2014) 1985年1月~90年12月	谷岡 武雄
大南 正瑛 (1931~) 1991年1月~98年12月	大南 正瑛
長田 豊臣 (1938~) 1999年1月~2006年12月	長田 豊臣
川口 清史 (1945~) 2007年1月~14年12月	川口清史
吉田美喜夫 (1949~) 2015年1月~18年12月(任期)	吉田美喜夫

科研費私大3位

研究進展に期待

10月10日、文部科学省発表の「平成26年度科学研究費補助金(科研費)の配分」で立命館大は採択金額で慶応義塾大、早稲田大に次ぐ私立大学3位となった。あらゆる学問分野における独創的・先駆的な研究に対し、競争的研究資金として補助金が助成される。科研費採択により、さらなる研究調査の実施、新たな研究機材などの導入、研究者間の交流などが創出され、研究が複層的に進んでいくことが期待される。同大研究部リサーチオフィス衣笠の野村慶人さんは「研究が進展することで、社会に成果が還元されていく」と話している。

今回の対応を留意し、緊急時の体制を見直すべくといった意見も学内からは出ている。

忘年会宿泊プラン

鴨川のほとりにたたずむに荘で過ごす癒しのひと時

平日限定 金・日含む
1泊2食付飲み放題込お一人様

¥10,000
(別途入湯税150円)

プラン申込人数10名様以上で承ります。
マイクロバス無料送迎承ります【要予約】

国家公務員共済組合連合会 KKRホテル京都 くに荘 京都市上京区河原町通荒神口上ル東入東横町27-3 TEL: 075-222-0092

温泉露天風呂& 温泉大浴場 OPEN 記念!

【ご宴会・2時間飲み放題込】

お食事: 京会席、鍋(牛すき焼き、牛しゃぶ、カニしゃぶ)の中から選びいただけます

お飲物: 飲み放題メニュー
ビール(ブレンド・日本酒・焼酎(麦・芋)・ワイン・烏龍茶・レモンジュース・コーラ・ジンジャーエール

会場: 和室・洋室 大宴会場(各100名様まで) 和室小宴会場(4~12名様) ございます。

【ご宿泊】

お部屋: 各種ご用意いたしております
シングル、ツイン、和室8畳トイレ付き(2~4名様)

※料理内容は仕入状況により一部変更になる場合がございます



人形劇団ふうせんのり





学生同士でも話し合いながら疑問を解消していく

BKC発 授業の疑問を解決 物理駆け込み寺など開催

「授業が難しく分らない」「今後どのように学習したら良いのか分からない」。学習面で疑問を持つ学生は多いだろう。しかし、その疑問をそのまま放っておくことは良くない。BKCでは理系学部にも所属する学生を主なターゲットに、学習に関する相談が自由にできる部屋が設けられている。

ウェストウィング1階に「ピアラーニングスタジオ」として自由に出入りできる部屋が今年度から設けられた。この部屋では教員や学



生スタッフから好評の物理駆け込み寺。授業で少しでも疑問に思ったことは、面と向かって相談すべき。物理駆け込み寺の担当教員である濱地賢太郎さんは語る。正課の授業は平等に教員から学生に教えるスタイルであるため、学生の理解に差が出てくる。それを解消するため

生スタッフは、授業に関する疑問を持つ学生にアドバイスを与える活動が行われ、さらには集団で学習ができる場にもなっている。学生スタッフが専門教科のアドバイスをするほか、教員が物理や数学の質問を受け付ける「物理駆け込み寺」や「数学学修相談会」が開かれている。学生同士が議論をして、活発に勉強を進められることも特徴の一つだ。

「授業で少しでも疑問に思ったことは、面と向かって相談すべき。物理駆け込み寺の担当教員である濱地賢太郎さんは語る。正課の授業は平等に教員から学生に教えるスタイルであるため、学生の理解に差が出てくる。それを解消するため

OIC開設に向け準備着々



キャンパス移転に伴い、学生向けの相談窓口が立命館生協に設置されている。同生協とクレオテック社の共同運営という形で、同生協が窓口を務める。

また家賃の問題も。笹瀬さんは「茨木市は家賃が上昇傾向。一方JR茨木から電車で数分の新大阪は、新幹線や大阪中心部へのアクセスに便利。そして比較的家賃が落ちてきている」と指摘。そのため新大阪を検討する学生もいるという。

住まいさがしセンターは、衣笠心館地下1階ふらっと内、BKCリンクスクエア1階リンクショップ内に設けられている。

来年4月の大阪いばらきキャンパス(OIC)開設に向けて、衣笠キャンパス・BKCでは準備が進められている。現在、立命館生協ではキャンパス移転に伴う学生の引っ越しへの対応が、図書館では図書移設作業の準備が進行中だ。

7月から相談会に来店した学生は2キャンパスで400人(10月31日現在)。BKCは337人と大半である一方、衣笠では63人だった。政策科学部が移転する衣笠では特に「在学が入学時に移転を見据えて、阪急西院やJR京都周辺に住まいを置いたのでは」という見方を示す。

現在茨木市では、学生マンションの整備が追い付いていないのが現状。そのため社会人混合マンションを案内する場合もあるという。

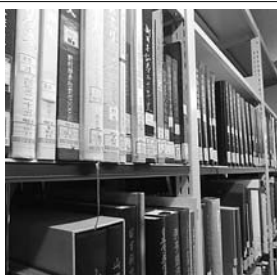


開設に向けて建設が進むOIC
=12月7日午後4時、茨木市

図書館 2月下旬から本格化 図書の移設準備進む

OIC開設に向けて、衣笠・BKC両キャンパスの図書館では図書資料の移設作業が行われる。

OICに開設予定の図書館の資料総数は約30万件。移設される学部や所属教員の研究用図書を中心に、移設準備が進められている。



BKCメディアライブラリーに配架されている社史も移設予定だ。

北区で中3学習会を開催

立命館大衣笠地区BBS会

学内ボランティアサークルの一つに立命館大学衣笠地区BBS会がある。日本BBS連盟に加盟し、非行少年や社会に適應できない子どもたちの自立支援を目的として活動を行っている。

生徒と同じ目線で

「授業が難しく理解できなかったが、スタッフの丁寧な解説で理解しながら問題を解くことができた」と感想を話す。

授業で少しでも疑問に思うことがあれば、この部屋で先生や先輩、友人とともにその疑問を解決していける。これらの学習相談会はテスト期間中を除いた平日に開かれている。対象はBKCに所属する全学生だ。

衣笠に小説家・中村航さん 好奇心と情熱持って

現在公開中の映画「デビクロくんの恋と魔法」の原作者である小説家の中村航さんが、11月15日立命館大衣笠キャンパスでトークライブを行った。



後半は観客からの質問に答え、トークライブ後もファンとのサイン会や写真撮影を行った。立命大生へ向けては「好奇心と情熱で君の世界をまわせ」という言葉を残した。

学友会三役人事

学友会三役人事(9月26日) 中央事務局長・水野貴史(産3)▽退任 安藤成彦(政3)



水野貴史(産3)

年の女子生徒からは「定期テストの点数が上がった」との声もある。竹下さんは「ここでの経験が子どもたちのこれからに少しでも良い影響があれば」と今後も積極的に活動が続いていく方針だ。

地域のお悩み解決します

学生が法律相談



法律相談部の中嶋理恵さん(右)、鈴木建瑠さん(左)

大学生と地域の住民が一つの机を挟み、真剣に相談する。そんな空間を作っているのが、立命館大公認団体「学生法律相談部」である。月に2回ほど土曜日に立命館大衣笠キャンパスの志学館で、地域住民の「ちょっとしたトラブル」に対する無料の法律相談を行っている。

個人情報関係などから、刑事事件や立命館大生に対する相談など受け付けられない相談もいくつかあるが、その他の相談であれば基本的には何でも受けるようにしている。部内では受ける相談のジャンルにより、家族法・財産法・借地借家法・公法の四つのデスクに分かれており、デスクごとに週に1〜2回の勉強会を開いて各自の専門分野への知識や理解を深めている。

部長の中嶋理恵さん(法3)は、入学前に法律相談部の先輩にツイッターでフォローされ、勧誘を受けたことが入部のきっかけになったと言う。部自体にそれほど興味があった訳ではないが、法学部ということもあり法学に関心があったの

で入部を決意した。公報局長の鈴木建瑠さん(法2)は、一回生の後期に入部した。当時空き時間が多く、どうせなら勉強にもなることをしようと思い友人の所属する法律相談部へ入部した。2人とも最初は大きな志があっていたが、今ではそれではなかったが、今ではそれぞれ部を引っ張る存在だ。

法律相談部は来年で60周年を迎える。鈴木さんは今年までも、これからも、伝統を守りつつ地域の要望に応え続けたいと語った。現在、法学部一回生の入部を募集している。(石井沙希)

文学のいま、語り合う

協定締結記念フォーラム開催



これからの文学研究について話し合われた=11月27日午後、衣笠

6月に締結された立命館大学と奈良近代文学館・公益財団法人神奈川文学振興会と立命館大との包括協定を記念し、11月27日、立命館大衣笠キャンパスでフォーラム「いま文学が語ること―これからの文学と文学研究―」が開催された。

「村の名前」で芥川賞を受賞した同館館長で同会理事長の作家、辻原登さんが「文学は必要か 誰のものでもない悲しみ」と題

して、新聞記事と川端康成の「雪国」の文章の比較など役割です」と話した。その後、大学教育の中での文学研究の取り組み方や文学を学ぶことの可能性について、中川成美・同大文学部教授を司会に辻原さんと川口清史・立命館館長、同大客員研究員のエマニエラ・コスタさん、同大

学院生の武田悠希さんらによるパネル・ディスカッションが行われた。辻原さんは、同館が収蔵する豊富な資料が、立命館大との連携によって、より活用され、文学研究が促進されることに期待を示した。明治期の小説家、押川春樹を研究する武田さんは、文学を研究する意味を「今の自分の考えや思考を相対化できる」とし、また研究の資料の保存や公開の重要性についても話した。母国語以外の言語でも執筆活動をする作家の文学である「越境文学」を研究する、イタリアからの留学生、コスタさんは「文学があるから見知らぬ国や文化の窓が開けた。文学研究によって、その窓を開き続けたい」と話した。(福井優)

学生映画祭 秀作光る



映画祭初日、コンペティション上映後にトークショーを行う登壇者ら=11月22日午後、京都シネマ(下京区)

国内外から集まる

11月22〜28日まで第17回京都国際学生映画祭が開催された。連日多くの映画ファンでにぎわった同映画祭。最後には最終審査員らにより各賞が決定した。国内外から各作品の監督・関係者や来場者らが京都に集った一週間となった。

映画祭初日の22日は3連休の初日。会場となった京都シネマ(下京区四条烏丸)のロビーには多くの来場者や監督、出演者などの関係者がいっぱい。ここでは各作品の関係者と来場者たちとの間で会話が弾んでいる。詰め掛けた人々の

間では時折通訳も交えつつ、まさに国境を越えた映画の空間が広がっていた。今年度の同映画祭には国内および米国や英国、ドイツ、オーストリアなど海外から作品が集まった。その数26カ国・地域から国内外合わせて350作品だ。年々海外からの応募作品は増加しているという。

同映画祭ではコンペティション入選の11作品に加えて関西の大学生による作品や、惜しくも入選には至らなかった秀逸な作品の上映も併せて行った。映画祭の最終日28日には授賞式と受賞上映が行われた。また最終審査員である映画監督で大阪芸大教授の原一男氏、映画翻訳家のドン・ブラウン氏、映画解説者の中井圭氏の3人が受賞監督らとトークショーを行った。作品を深く掘り下げた内容の議論に、来場者も満足の様子だった。

来場者の男性会社員(30)は「毎年楽しみに来ている。普段のシネコンでは観られない学生映画は面白い」と語った。



同日、にぎわう京都シネマのロビー

立命館大でもプレ上映



京都国際学生映画祭や京都シネマの魅力を語る横地さん(左)

11月14日、立命館大衣笠キャンパス充光館において、京都国際学生映画祭イベントが行われた。この催しは、22〜28日の期間に京都シネマで開催された京都国際学生映画祭に先駆けて行われ、過去作品が上映された。参加者には、京都シネマ元代表の神谷雅子さんの著書『映画館ほど素敵な商売はない』が無料配布された。

上映作品は、「あきちあそび」「婆ちゃんの金魚」「藍と赤」「Before Summer Rain」の計4作品。上映後、京都シネマ支配人の横地由起子さんによるトークショーが行われ、映画祭や京都シネマの魅力について語った。

この企画もいよいよ後半戦に突入。11月16日夕方、再出発は立命館大衣笠キャンパス体育館裏の龍安寺口からだ。

まずは世界遺産ロード「きぬかけの道」を西へ。そんな道にある観光地の一つ、世界遺産の仁和寺が見えてきた。同寺は宇多天皇が先帝の遺志を引き継ぎ888(仁和4)年に完成させた。

再び道を行くと立命館インターナショナルハウスⅡがある。海外からの学生・研究者との交流を目的として立命館大が設置している。

さらに西へ行くと時代劇の撮影などでよく使われる広沢池がある。風情ある情景で知られ、あ

Go To OIC! ⑤ 衣笠キャンパス→大山崎

の松尾芭蕉も一句詠んだとか。そこからしばらく行けば、観光都市京都の中でもこの秋一番



人であふれる嵐電嵐山駅

混雑する嵐山が近づく。この日も嵐電嵐山駅から渡月橋にかけては黒山の人だかり。世界遺産天竜寺にも紅葉見物の観光客があふれていた。

渡月橋(桂川)を渡り嵐山を後にすると、阪急嵐山線沿いに一路南へ。

この後、日が暮れ寒さも厳しくなってきた。府道67号をひたすら南下し、向日市、長岡京市を経由し、今回の終着点阪急大山崎駅に到着。すっかり真夜中だ。いよいよ次回は最終回。有終を飾る旅にしたい。(阪田)

文化 100年目の丸山眞男

終戦直後の1946年。雑誌「世界」5月号に掲載された1本の論文が、論壇に衝撃を与えた。その論文は「超国家主義の論理と心理」。著者は政治思想史学者、丸山眞男である。

この論文で丸山は、戦前の日本を覆い尽くし、敗戦に至らした超国家主義を、人々の思想構造・心理的基盤から分析し、その病巣を鮮やかに剔抉した。

丸山は「日本軍国主義に終止符が打たれた八・一五の日はまた同時に本帝国の『実在』よりも戦後民主主義の『虚妄』にその運命を委ねた日でもあった」と、45年8月15日を日本の出発点と捉え論文を結んだ。

その後丸山は自身の専攻である政治思想史学をけん引し、また現実の政治や社会についても積極的に発言。「戦後民主主義のオビニオン・リーダー」と呼ばれた。

しかし、高度経済成長期を迎えるにつれ、人々

丸山は「民主主義というものは、人民が本来制度の自己目的化―物神化―を不断に警戒し、制度の現実の動き方を絶えず監視し批判する姿勢によって、はじめて生きたものとなり得る」とし「民主主義によって辛うじて民主主義でありうる」と、民主化のプロセスこそが民主主義の本質であると指摘する。

丸山の言葉だ。「大日本帝国の『実在』よりも戦後民主主義の『虚妄』の方に賭ける」。民主主義の本当の在り方とは何か。そう問いつけた丸山は、くしくも96年、戦後民主主義の出発点の日である8月15日に逝った。

来年は戦後70年を迎える。戦後民主主義のこれまで、そしてこれからを考えていくためにも、今、丸山眞男が読まれる時代だ。

(福井優)

今年もあと一歩及ばず

パンサーズに立ちはだかるKGの壁



今年も関学大に勝利ならず、選手たちは悔し涙を見せた

4年ぶり優勝ならず

またしても関学大という壁を跳ね返せなかった。11月23日キンチョウスタジアム(大阪市)で行われた一戦に立命大は7対21で敗れ、4年ぶりの優勝はならなかった。

立命大は試合開始直後の関学大による攻撃シリーズで早くも先制TDを許してしまう。1Qではその後、両チームでインターセプトの応酬となり守備側のビッグプレーが何度も飛び出す展開となった。一方で立命大は攻撃時のミスが目立つ。2Q5分にも関学大に押し込まれて2つ目のTDを許した。

このままでは引き下がれない。3Q4分にDB八条彬久(3)がインターセプ



3年ぶり関学大からのTDはDB八条彬久(3)がインターセプ

トリアーンTDを鮮やかに決める。実に対関学大から3年ぶりのTDだ。

しかしその5分後にTDを再び許し、それ以降の反撃はかなわなかった。

試合後、立命大の米倉輝監督は「チームとしての力不足に加え、挑戦者なのに後手に回ってしまった」と悔やんだ。また4回生で副

将の岸啓輔(2)は「入学以来1度も優勝できず悔しい。後輩たちには後悔しない戦いをしてほしい」と静かに語った。

敗れはしたが収穫も多かった「KG戦」。来季こそ王者奪還に期待だ。

(阪田裕介)

ラグビー 立命大連覇の夢散る 首位関学大に完敗

立命大連覇への道は、関学大の鉄壁の前にはついに断たれた。11月15日近鉄花園ラグビー場(東大阪市)で行われた関学大戦は、10対33の完敗。昨季唯一敗れた関学大に雪辱を果たすことは叶わなかった。

立命大は前半14分宗像仁



攻撃時のミスも多かった

月6日の立同戦に何としても勝利したいところだ。

(阪田裕介)



アンカー菊池のゴールインで史上2校目の4連覇達成

立命大底力の4連覇

10月26日に行われた全日本大学女子駅伝(仙台市陸上競技場)同市役所前市民広場II6区間38・0(キ)で立命大は4連覇を果たした。万全とはいえないチーム状態の中、立命大の底力が光ったレース。2位は大東大、3位は大関大となった。

これ以上ない秋晴れの下、杜の都で立命大の底力が光った。熱気と興奮の中、ゴールの仙台市役所前に一番に現れたのは今年も

立命大。「4」と右手で示しながらアンカーの菊池文がゴールテープを切った。

立命大の1区は大森菜月。昨年に引き続き区間賞に輝くが、スローペースに苦しみ2位とわずかに1秒差で2区の太田琴菜にたすきを託した。

その1回生ルーキーの太田が圧巻の走りを見せた。2位との差を45秒に広げる区間賞の走りであり、走りでのリードを確実にする。

3区の園田聖子はタイム差を縮められるものの着実に走り切り、4区

菊池を立命大の選手たちが受け止める。その笑顔には

この1年の苦しみを開放するかのよう涙も見られた。

レース後菊池は「きょうこの日を迎えてうれし。年末(富士山女子駅伝)でもう一度、日本一になりたい」と意気

【立命大記録】
▽1区(6・4キ) 大森菜月20分55秒
Ⅱ区間賞▽2区(5・6キ) 太田琴菜17分29秒
Ⅲ区間賞▽3区(6・8キ) 園田聖子22分35秒
Ⅳ区間3位▽4区(4・8キ) 菅野七虹15分40秒
Ⅴ区(9・2キ) 津田真衣30分20秒
Ⅵ区(5・2キ) 菊池文加17分37秒
Ⅶ区間3位

菅野七虹にリレー。菅野は脚のけがからの復調中で確実な走りができるかは微妙な中、見事区間賞を樹立。2位大東大との差を1分8秒に広げること

5区には唯一の4回生の津田麻衣が走る。こちらも本調子とはいえない中、差を詰めた。昨年度の3連覇を知る先輩らしい走りを見せた。

最終6区では3回生で主将の菊池が渾身の走り。長く不調に悩まされてきたエースが主将の責任を見事に果たす結果となった。

苦しみ抜いた末の栄冠

ポーズを決めてフィニッシュした

今季最高の試合
11月22日、リーグ最終節が行われ、立命大は桃山大学と3対2で勝利した。立命

大の最終順位は9位。自動残留には勝ち点1の差で及ばなかった。しかし29日、龍大との入れ替え戦には勝利。1部残留を決めた。

最終節は今季最高のパフォーマンスだった。前半からペースをつかみ、先制点を献上したが、後半に入るとわずか12分で逆転に成功。FW加藤を含む前線4人のパス、ドリ

ブル、全てが絡み合い、MFの茂は庄巻のハットトリック。連勝し波に乗ったチームは入れ替え戦でも勝利した。

さらにこの一戦の先には社会人代表と戦うライスポウルがあり、勝利すれば真の日本一の称号を得ることになる。

サッカー 最終節は逆転勝ち 2年連続入れ替え戦も勝利

大の最終順位は9位。自動残留には勝ち点1の差で及ばなかった。しかし29日、龍大との入れ替え戦には勝利。1部残留を決めた。

最終節は今季最高のパフォーマンスだった。前半からペースをつかみ、先制点を献上したが、後半に入るとわずか12分で逆転に成功。FW加藤を含む前線4人のパス、ドリ

ブル、全てが絡み合い、MFの茂は庄巻のハットトリック。連勝し波に乗ったチームは入れ替え戦でも勝利した。

さらにこの一戦の先には社会人代表と戦うライスポウルがあり、勝利すれば真の日本一の称号を得ることになる。

さらにこの一戦の先には社会人代表と戦うライスポウルがあり、勝利すれば真の日本一の称号を得ることになる。

応援の勝利

立命大が今季最高の試合ができた裏には、心強い応援の力があつた。通常と違い、残留をかけた試合というところあって、多くのサポーターが集結。特に後半に入ると、大半が立ち上がり選手に声援を送った。今まではベンチ外となったサッカー部員が応援をしていたが、今回はチア部、野球部なども駆け付けた。リーグ戦中盤からなかなか見ることができなかった、気持ちが入り、自信がみなぎるような選手のパフォーマンスに、勝利に対する執着心の背景には、少なからずその声援が影響したように見える。「サッカー部の勝利」というよりは、「立命館大学」の勝利とも言えるだろう。

(石塚大樹)

Cheer for team R
アメフト
日本一を目指して



大一番には2万人超の観客が詰めかけた

立命大および関学大は関西学生アメリカンフットボールリーグ1部に所属しており、同リーグで優勝すれば関西代表に。次に西日本代表をかけた他地域の代表と戦うことになる。勝利すれば、大学日本一をかけて東日本代表と対決。この戦いこそが甲子園ボウルである。

台湾大学にある総図書館。学内で最大の図書館でもある。2013年9月



「民主バス」で投票へ

【台中=Yu Songlin】11月29日に台湾で統一地方選挙が行われた。重要な選挙だが、多くの若者は地方から台北市などの大都市に大学進学をしている。帰省にはお金が掛かるため、投票のために地元へ帰らず、選挙権を放棄する学生も少なくない。

4割以上の学生が地方出身者である台湾大学では、学生会が学生たちに投票を促すために、バス業者と提携し、「民主バス」というキャンペーンを行っている。台湾大学の学生であれば、誰でも利用することができ、値段は普通のバスよりも安く設定されている。利用には予約が必要であるが、すでに200人以上が予約をしている。学生は台湾の政治史において大きな役割を果たしてきた。今年の3月にも台湾で「太陽花学運」という大規模な学生運動が起きた。若者の政治への関心が低下する時期もあったが、ワーカーキングアウトなど若者と密接に関係する社会問題が深



く、選挙が行われた。重要な選挙だが、多くの若者は地方から台北市などの大都市に大学進学をしている。帰省にはお金が掛かるため、投票のために地元へ帰らず、選挙権を放棄する学生も少なくない。

漢字研究で東洋の原点探る

白川 静
と学ぶ

第1回「白川学」を伝える



同研究所の名前は、白川静名誉教授が命名した。2005年6月(立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所提供)

「白川先生は、学問に対しては厳しかったが、一方でユーモアのある方でした。そう語るのには、立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所で文化事業を担当する久保裕之さん(49)。

白川静名誉教授は、漢字の起源とされる中国の古代王朝で使われた甲骨文・金文から漢字の成り立ちを体系的に解明。特に「口」という漢字が、祭祀に用いられる祝詞を入れる容器をかたどった字とする「サイ」の発見は、それまでの字源研究を根底から覆す大発見だった。

しかし白川名誉教授にとっても漢字研究はあくまで手段でしかなかった。真の目的は、漢字研究を通して中国古代の人々の思想や習俗、文化を解明し、東アジアの原点を探ることだった。久保さんは「古代中国の習俗・思想と文字を結びつけたところに独創性があった」と指摘する。

現在でも、白川名誉教授に関する書籍の出版は相次いでおり、その学問は学際を超えて多くの一般の人々をも魅了している。「文字」というものを踏まえた学問。人知を超えたようなところが、心というものを求める現代人の志向に合ったのではないかと久保さん



久保さんは漢字教育士としての活動もしている

しらかわ・しずか 東洋学者。福井県生まれ。1943年立命館大法文学部漢文学科卒業。立命館中学教諭を経て、同年より同大で教鞭を執る。84年の『字統』を皮切りに『字訓』『字通』の字書三部作を刊行。2004年文化勲章受章。06年96歳で死去。

11月11日、立命館大文芸センター「ふらっと」で、ビブリオバトル予選会が開催された。

ビブリオバトルとは、発表する参加者が、お互いに入りの本をそれぞれ5分間で

「創作漢字コンテスト」などの文化事業も行う。同研究所の「東洋文字文化」という名前は、白川名誉教授の強い思いがあったと久保さん。かつて東ア

シアには漢字・漢文を媒介にした「東洋」が存在した。「白川先生には東洋を復活させたい」という思いがあった。そのためには、その根源である漢字・思想を明らかにし、人々に伝えていく必要があった。そのことを私たちが伝えていきたい」

今年のは故白川静・立命館大名譽教授が文化勲章を受章されて10年になります。それを記念し特集します。

文化の窓

▽立命館土曜講座「歴史都市と災害」 午後2時、立命館大末川記念会館講義室 075(465)8236、無料▽20日「伝統構法木造建築物を未来につなぐ」鈴木祥之・立命館大文芸総合研究機構教授

訂正 11月14日付総長選挙特集号での総長候補者インタビューの中で、吉田美喜夫氏のコメントの「リーセント」の表記は正確には「ディセント」の誤りでした。

1時・午後6時半開演、20日午後1時・午後5時半開演、立命館大学生会館小ホール 080(3845)2180、前売り・当日500円。

区最終予選として行われる「くさつビブリオバトル2014@BKC」への出場者を決定することになった。

書評対決でトップを狙え！

チャンプ本には「恋文の技術」

現在では全国の大学をはじめ、小中学校や高校、一般企業でも広く行われている。また教育機関の他にも書店やカフェでも開催されている。今回、ふらっとで行われたビブリオバトルでは、「全国大学ビブリオバトル2014」の京滋地

ビブリオバトル

5人の発表終了後に投票が行われ、開票の結果、チャンプ本には、森見登美彦の『恋文の技術』が選ばれた。5分間の発表では「読むと誰かに手紙を書いてみたくなるような本」という紹介だった。

「全国大学ビブリオバトル2014」京滋地戦は、12月14日に京都大時計台ホールで開催される。

ビブリオバトルで紹介された本

- 1 平山 夢明『ダイナー』(ポプラ社・1620円)
- 2 森見登美彦『恋文の技術』(ポプラ社・1620円)
- 3 近藤 誠『がん放し治療のすすめ』(文春新書・842円)
- 4 有川 浩『塩の街』(角川文庫・720円)
- 5 高田 崇史『Q.E.D東照宮の怨』(講談社文庫・788円)



Ritsumeikan University Press

新聞社新WEBサイト公開中！ <http://www.ritsumeikanpress.com>

立命大の最新情報、立命大のスポーツ、新キャンパス情報、Go To OIC!など盛りだくさん！

立命館新聞社

検索